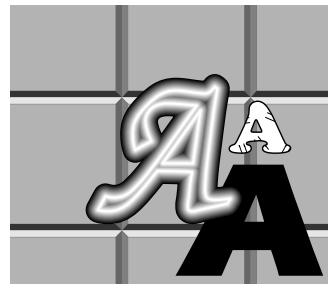


季刊 Ja-Net

ジャネット



第11号

Ja-NetはJapanese Networkの略です。
「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ
情報誌にしたいと考えています。

スリーイーネットワーク

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3 松栄ビル
TEL 03-3292-6410/FAX 03-3292-6197
E-mail 3ac@mail.at-m.or.jp

外務省・寺田輝介大使が語る

Good Communicatorの条件



1996年のペルー日本大使公邸占拠事件の結末は、ゲリラ全員の射殺というショッキングなものでした。ゲリラとの交渉当事者として、寺田大使の感想をお聞かせください。

日本政府の方針は終始「テロに屈せず、人命尊重を最優先として平和的解決を目指す」ということでした。ゲリラ・MRTAの要求は人質との交換に彼らの仲間を釈放せよということでしたが、ペルー政府・フジモリ大統領は強硬でテロリストをキューバに送り込むことが最大限の譲歩という立場で、交渉は予想以上に時間がかかりました。

1997年4月半ば、MRTAは毎日出入りしていた国際赤十字職員の公邸への出入りを禁じました。中にいる人質にとっては水、食料を運びこんだり、医療相談にのってくれる赤十字職員は精神的な安定剤で、この禁止措置は人質にとって大きな不安になりました。中からは私にも「自分たちの生活はもう限界に来ている。最終的な解決を急いでくれ」とのメッセージが来ていました。

その頃、非公式会議の後、MRTAナンバー2のロハスが私に「寺田大使に話がある。そろそろ冬物の準備をしてくれないか」と言ってきました。彼らは長期戦を目指してきているのだと判断しました。彼らは食堂をつぶしてサッカーをして体力維持に努めていた

のです。

そんな中、4月23日フジモリ大統領が、MRTAの隙を完全について部隊を突入させて一挙に解決をはかったわけです。日本政府の方針である平和的解決には背馳していたとしても、当時の限界的な状況からして私は已むをえなかったと考えています。

外交官は外国との交渉の最前線にいるわけですが、異文化ということを意識するでしょうか。

外交交渉は最初から異文化の間においていかにコミュニケーションを行なうかということです。こちらが伝えたいことを100%すべて口に出すと同時に、何故我々がこう考えるかという背景を十分理解してもらうことが大切です。

それから、外交交渉では交渉に先立ち、お互いに何を議論するか、つまり議題を書き物で決めます。この議題の選定には大変エネルギーを使いますが、そこまで行かないとお互いのコミュニケーションをはかるのは難しいということです。

それと根回し。これは決して日本だけの特技ではありません。異文化間コミュニケーション、たとえば国際会議などでの事前の根回しは重要な要素です。これをぬきにしては日

本の主張も通せない。私も若い時代、国連代表部で働きましたが、国連の会議などで日本の明石康公使（当時）と事前の根回しに奔走した経験がありますよ。

最近、国際的な場でのコミュニケーションの手段として英語の役割が大きくなってきていますが、たとえば南米の場合はどうでしたか。

MRTAはスペイン語しか話さないのですから交渉はもちろんスペイン語でした。

メキシコ大使時代、私はメキシコ国内の31州を全部回りましたが、知事で英語を話せる人はまずいませんでした。日本のメッセージを州単位に浸透させることが目的で、そのために行政の長である州知事とまず会う。次代を担うエリートを養成する各州の大学を訪問する、新聞のインタビューに出る、ラジオやテレビに生出演する。そういった場合、現地言葉を使わない限り話しはできません。ある国においてgood communicatorになるにはやはりその国の言葉が欠かせません。

いろんな国籍の人の集まりにおけるコミュニケーションの場合、同時通訳がいるときは自国語で話せばいいが、そうでない場合は誰でもが使える英語を、ということになるでしょう。それはしかし、発音がいいとか悪いとかは問題でなく通じれば良いと思います。

本誌の読者は外国人に日本語を教えている先生が多いのですが、いわば民間の外交官として重要な役割もっています。外交官に必要とされる要素は何だとお考えでしょう。

日本語教師はまさに民間の外交官だと思います。私たちとの共通項は、ひとことで言えば「good communicator」ということではないでしょうか。そのためには、まず、日本語の先生といえども相手に伝える手段として、かなり高いレベルの外国語の知識が必要なのではないでしょうか。完璧にマスターすることは難しいとしても、自分の言いたいことを正しく伝える手段として使える水準の言葉を習得することは必要でしょう。

次に、日本についての知識。日本語の先生だから日本語がわかればいいというわけではなくて、政治、経済、文化、そういったことについてのかなりの水準の知識がないとメッセージが相手に正しく伝わらないと思います。

それから異文化、外国人に対する強い知的関心がある

ことが大切でしょう。しょっちゅう外国人に接している人が「外国人は嫌いだ」ではすみません。

最後にもうひとつ、相手の考え方を理解できることですね。日本語を教える立場でも同じことで、相手は国籍によって考え方がいろいろ違う。何が違うかということを理解するには、相手の国のこと、なかんずく「歴史」を知ることが大切だと思います。

日本人は英語が下手だとか、外国に対して閉鎖的であると言われる。長い海外生活を通して、海外で生活している日本人はいかがでしたか。

最近、若い人は海外経験も多いので取り組み方が変わってきています。バブル前の一時期、特に日本経済が右肩上がりの時代、海外に進出する企業が増えました。

たとえば、私がマレーシアに赴任していた1980年代、日本から建設業のラッシュがありました。企業の皆さんは日本人だけで付き合いおうとする傾向がありましたね。そこで「マレーシアの方々を受け入れてくださるからこそ、ここで仕事ができるわけで、もっと現地の人とお付き合いしたらどうですか。Symbiosis(共生)な関係、現地の人々といっしょに生活することが大切だ」と申し上げたことがあります。ゴルフをやるなら現地の人といっしょにやりましょうと。日本人と現地の人々との接点を増やすために努力しました。メキシコに赴任したころは世代がひとつ若くなり、少し前向きの変化がありました。

現地の人々に溶け込むにはやはりある程度現地の言葉が話せないと駄目です。今やグローバル化は不可避のことなので、その現象を自分のこととして受け止めて、積極的にその中に入って行くことも必要ではないでしょうか。

最近リストラによる失業が恐れられていますが、これからは海外に就職のチャンスを求めることも大切です。恐れなければならないのは、こういう時代に向けて何も準備をしないことです。組織に入って、そのまま努力せずにところてん式に上に上がって行くような従来の雇用ができなくなってきています。自分の能力の向上、なかんずく語学の学習とそれに立ったコミュニケーション能力の向上をはかることはますます大切になっています。私は日本人がa priori(先天的)に語学の素養がないとは思いません。要は努力するかしないかの問題、勉強の仕方の問題だと思います。



寺田輝介(てらだ・てるすけ)

昭和37年外務省入省。総理大臣秘書官、中南米局長、外務報道官の他、海外経験も長く、国連日本代表部、マレーシア、フランス各国駐在公使、メキシコ駐在大使を勤めた。1996年メキシコ大使時代、ペルーで起きた日本大使公邸占拠事件では日本を代表してゲリラとの交渉にあたった。現在は日朝国交正常化交渉、KEDO理事会日本政府代表など。

View from the Other Side

このコラムでは
学習者の視点での話題を
お届けします



学 習 者 の 目

異文化理解の心構え

私は1994年にドイツのボン大学に入学し、日本語の翻訳を勉強して5年になる。1997年に留学のために初めて日本に来た。あわせて1年半日本に住んだ経験がある。

このコラムでは日本と外国の習慣の違いなどがテーマであるが、外国人が日本で日本語を勉強すると、必ずそういう作文を書かされるので、今回は、日本の良い所について書いてみたい。

ある外国人と一緒に食事した時のことである。突然その外国人が「お箸は原始時代の道具だ」と発言した。お箸で食事するのはあまり上手でなかったため、面倒くささをお箸のせいにしてしまったのである。私はお箸は素晴らしい発明だと思う。

欧米の国では食事の時、ナイフ、フォークとスプーンが必要である。高級料理の場合その数はもっと増える。その上、厳しいルールでどの料理にどの道具を使うか決まっているので、欧米の方が何倍も面倒くさいと思う。一方で、日本料理の場合では、お箸でどんな料理でも食べられる。さらに、食事のあとでもお箸の勝ちである。ナイフなどは食べ物をはさまていたりするので、洗うのはお箸に比べて大変な苦勞である。

次は日本のサービスについて。留学の後ドイツに帰った時、日本のサービスが一番なんだと認識できた。ボンから実家に帰るため電車に乗った。窓口で往復の切符を頼んだ時「帰りはいつですか」と聞かれて「明日です」と答えた。買った切符の内容を確かめずに財布に入れた。しかし、翌日電車に乗った途端、切符に前日の日付が印

刷されていたことに気づいた。車掌が私の切符を検査し「この切符は無効です」と言った。「私は今日の切符を頼みました」と答えたが、切符の内容を確かめなければならぬと言われた。その車掌はとても失礼だと思ったが、結局もう一度切符を買わなければならなかった。

日本の場合、切符を窓口で買うとき必ず内容を確認してもらおう。もし、そういうミスがあればすぐ訂正できる。それで旅行を完全に楽しむことができる。

こうしたことは、ドイツの鉄道の問題だけでなく、デパートや店などいろいろな所でサービスという言葉は存在していない状態である。例えば、パン屋に行った時、私以外お客さんがいなかった。でも、店員の二人はおしゃべりで忙しくて私のことを無視した。私は3回ぐらい注文を言おうとしたが、店員は自分達の話が終わるまで全然聞いていなかった。日本ではこういう場面が想像できないと思う。

外国人として日本に住んでいると、いろいろ不都合なことがあると思う。日常生活は自分の国と違うので、すぐ「変だな!」とってしまうことが多いかもしれない。でも日本より自分の国の方が変だとなかなか思わないみたい。しかし、よく考えてみれば、日本の生活は変なことばかりでなく、面白くて楽しいこともたくさんある。興味をもつことが異文化理解の心構えだと思う。

私が日本語の勉強を始めたのも、カナダで知り合った日本人と話して日本や日本語に興味を持ったからである。

Gabriele Dittrich (ガブリエレ・ディートリッヒ)

20代のドイツ人女性。ドイツ・ボン大学日本語言語学部翻訳科在籍。高校卒業後、カナダの短期大学に英語学習のため留学。そこで日本人と知り合い、ひらがなや簡単な単語を教わる。将来は翻訳家を目指している。

あちこち日本語ご紹介

国内編

広島県
東広島市

ひろしま国際プラザでの日本語研修

(財)ひろしま国際センター



ひろしま国際プラザは広島県(広島国際協力センター)と国際協力事業団(JICA中国国際センター)が共同して整備した施設の総称で、中国・四国地方における国際人材育成拠点として平成9年4月にオープンしました。

プラザでは開発途上国等の人づくりや県民の国際化、NGO活動支援のための諸事業を実施しており、その管理・運営は(財)ひろしま国際センターが行っています。10年度までの2年間で、約90カ国から研修員が訪れ、外国人、日本人を合わせて延べ1,400人の研修利用がありました。

こうした中でメイン事業の一つである日本語研修はセンターの専任講師7人と登録時間講師約40人の陣容で臨んでおり、研修員一人ひとりが研修の成果に十分満足して帰国していただけるよう、研修内容の充実を図るとともに、センターとしても日本語研修のノウハウの着実な蓄積に努めています。

プラザでの日本語・日本文化研修の概要を紹介します。

(対象者)	(研修名・日本語等研修内容・研修期間)	
県内大学に院生・研究生として在籍する留学生	日本語高等研修	大学院での研究活動に必要な高度な日本語等 (日本語能力に応じて1年半または半年)
海外の学校・教育機関に所属する現職日本語教師	海外日本語教師養成研修	日本語教師としての資質を高めるための教授法・日本語運用 (年2回。各回2カ月)
県内市町村に配属された英語指導助手	英語指導助手研修	赴任先の学校・地域でのコミュニケーション能力等の向上 (5日間程度)
県が招聘した海外技術研修員	県海外技術研修員研修	技術研修受け入れ先でのコミュニケーション能力等の向上(2カ月)
アジア・太平洋の国・地域で日本語を専攻する海外大学生	海外大学日本語・日本文化体験プログラム	日本文化・事情も交えた実践的日本語(7日間程度)
県内に在住する外国人や留学生及びその家族	在広外国人研修	・日本語ボランティア指導者により県内6教室で日常生活に最低限必要な日本語習得(通年) ・指導者のための講習会(年2回)
JICA招聘海外技術研修員	JICA集中・一般日本語研修	技術研修受け入れ先でのコミュニケーション能力等の向上 〔集中:原則25時間/一般(1回につき2時間)8~35回〕
JICA招聘海外日系人	日系人日本語専修コース	将来、日系人技術者を通じた技術移転促進のための日本語習得 (6カ月)
企業等が受け入れた海外技術研修生	企業等技術研修生研修	職場でのコミュニケーション能力等の向上(1週間~)

ブルネイで日本語を教えて

在ブルネイ日本大使館 日本語講座 齋藤正雄

ブルネイ

バンドル・スリ・ブガワン

1. ブルネイについて

「ブルネイ」というと石油の国・お金持ちの国というイメージが先行しているようですが、どんな人々が住み、どんな言葉話し、どんな文化を持っているのでしょうか。日本語教育に即して少しご紹介したいと思います。

ボルネオ島の北側に位置しているブルネイは亜熱帯に属し、東京の感覚で言うと6月から8月にかけてのような気候で、四季の区別はほとんどありません。住民の多くはマレー人ですが、中国系の方も全体の2割程いるそうです。マレー語が国の言葉ですが、英語も広く使われています。

この国を訪問される方は道路が完備していること、他の東南アジア諸国と比べて新車が多いこと、また、教育費、医療関係は基本的に無料だという説明を聞いてびっくりされます。

2. ブルネイの日本語教育

首都バンドル・スリ・ブガワンで買い物などをしている、こちらが日本人だと分かること「どうも、ありがとう」とたどたどしい日本語が返ってくるのがよくあります。また、私の勤務先である日本大使館の広報セクションに日本関係の情報を探しにみえる方も数多くいらっしゃいます。こうしたブルネイの日本語教育を概観してみます。

現在の日本語教育は成人教育が中心です。勉強されている方の動機は大きく分けて2つあるようです。まず、実利的な側面、つまり今現在仕事を進める上で日本語が必要だ、あるいは将来的に必要なだろうと考えている方。次に、仕事とは関係なく趣味で、興味があるからという方です。現在のところ後者の、趣味・興味という方が圧倒的に多いように感じられます。

この成人教育ですが、具体的には政府の中の、日本で言うと文部省にあたる機関に「生涯教育」というセクションがあり、中に日本語クラスがあります。このコースは夜間のクラスで1週間に2回、年間約100時間程度の学習時間です。レベル的には1年目から5年目まであり、日本での感覚で言うと「初級」から「中級前期」または「後期」程度迄の内容です。

それとは逆に実用を目的とする日本語教育も盛んです。政府は将来の観光事業振興に目を向けていて「観光日本語」とでも呼ぶべき科目を設置しています。ここでは毎年短期間ですが日本から日本語の先生をお招きして短期の集中コースを

実施しています。地元の観光関係の方が数多く受講されています。

一方、大学などの高等教育機関でも日本語への関心、ニーズは高まっているようです。



弁論大会の参加者と筆者(中央背広姿)

3. 日本語教材

多くの学習者のお話を聞くと教材はこれまでに『日本語の基礎』『新日本語の基礎』が使われてきたようです。これは東南アジア全域の傾向だと思います。その理由はメインの教材が完備している上に文法解説、練習帳、テープ等の周辺教材もしっかりしているので、人気があるようです。最近発売された『みんなの日本語』もこれからは広く使われるようになるのではないのでしょうか。しかし、どんなに優れている教材でもやはり現場のニーズを100%盛り込むことはできませんので、私達も必要に応じて「肉付け」作業を進めています。今後は非漢字圏学習者に対する漢字指導の教材開発が望まれるのではないのでしょうか。

4. 授業の様子

これまでに受講者から聞いたお話しやアンケートを整理してみると圧倒的に会話、話し言葉を中心に勉強したいという要望が強いようです。そこで、スリーエーネットワークの絵教材、ビデオ教材などを随所に盛り込んで会話を中心に授業を進めています。「書く」方面はどうしても宿題に回さざるを得なくなりますが、受講者の多くは必ず宿題にしてある部分を提出して下さるので、添削が大変で悲鳴をあげています。現在週2回の授業を2名の講師で手分けして進めています。教師としては教えたことが確実に学ばれていく様子が手にとるように分かりやすい気持ちになります。



前回述べたように専修大学の初中級レベル(J2クラス)は、運用とより深い理解のための応用文法を学習するストラクチャー・シラバスと、知的向上心を満足させながらあるトピックを中心に4技能を伸ばすためのトピック・シラバスから構成されています。初中級レベルでの文法の基礎固めは非常に重要です。今回は、初級から中級への橋渡し段階のテキストである『日本語初中級』を中心にすえた、このクラスの具体的な授業内容についてご説明します。

1. 応用文法(ストラクチャー・シラバス)

テキストの会話文は各文法項目の典型的な使用場面が設定されており、自然な日本語が学べるので運用力の養成を目的とした授業に最適です。別冊の「留意点」の文法解説を読むと練習の意図がよく分るようになっており、さらに調査結果のデータも参考になるので教師必読です。

しかし、一部の学生(特にコミュニケーション力が先行している学生)の中には、目次の文法項目を見ると一度習ったものばかりなので、簡単すぎると思う人もいます。そのような印象や思い込みで学習意欲をそがれては学習効果にも影響が出ます。少なくともそう思わせない導き方をすることが肝要です。

同時に、このテキストが文法導入のテキストではなく、日常よく直面する自然な日本語会話場面の集積であるということ、したがってこのテキストをマスターすれば、どの文法を使うか指定されなくても自ら表現を選んで自然な会話ができるようになることを理解させ動機づけをしてから進めるといいでしょう。

進め方は、導入、接続形やフォームの確認、会話練習、応用会話の順ですが、まず文法知識があっても場面によって適切な表現ができないことを学習者に自覚させるような導入の工夫が効果的でしょう。たとえば、次のようなやり方が考えられます。

1. 導入会話をテープで聞かせ、場面を考えさせる。
2. テキストを開く前に典型場面を与えて、その時にどのような表現を使うか考えさせる。
3. 使い分けの問題をやってみて表現の違いを考えさせる。

また、会話練習ではテープを活用すると、ストラクチャーだけを見ていたのでは入ってこない「あのう」「ええと」「あっ」などのフィラー、その他の会話表現が耳から学べるという点で効果があります。

『練習問題』は宿題として与えていますが、前半がフォームの確認、後半はディスコースの中で使用できるかどうかをはかれる自由回答形式になっています。後半が間違いなくこなせるようになれば、もう中級レベルへの準備完了といえます。

項目の提出順は、始めから順に取り上げていく必要がないので、専修大学ではもう一方の柱であるトピック・シラバスの読解で扱われる文法を優先し、調整しながら決めますが、このレベルで扱いたい文法項目を考えるとこのテキストだけでは不十分です。たとえば、推量や典型を表す「～らしい」、分かっていそうで分かっていない「意向形」、様々な表現に使われる「わけ」等々ありますが、必要と思われるものは別に作成し使用していません。(7頁に一部を掲載。)

日本語初中級 理解から発話へ 名古屋YWCA教材作成グループ著	
テキスト	定価(本体1,942円+税)
練習問題	定価(本体1,000円+税)
カセットテープ	定価(本体3,000円+税)

1. V(よ)うと思う

導入

1. 森田：あした、パーティーですね。何か持っていかなくちゃ。
スミスさんどうしますか。

スミス：私は、ワインを持って行こうと思っています。

2. リー：もうすぐ夏休みね、山本さんはどうするの？

山本：うん、富士山に登ろうと思っているんだけど、まだ、はっきり決めていないの。

意向形の作り方

グループ	見る	見よう
グループ	くる	こよう
	する	しよう
グループ	読む	読まみむめ <u>も</u> う
	話す	話さしすせ <u>そ</u> う

(自主作成教材、一部省略)

形の練習

例 今日家にいる(今日は家にいようと思います。)

- 1) たばこをやめる()
- 2) プレゼントをあげる()
- 3) ギターをならう()
- 4) 環境問題について話す()
- 5) できるだけ、新しい文法を使う()
- 6) アルバイトをさがす()
- 7) 国へ帰る()
- 8) また、日本に来る()
- 9) 先生に相談する()

使い方の練習

鈴木：だれにインタビューをお願いしますか。

チャン：田中さんにお話ししようと思っています。

鈴木：そうですか。

例 だれ、インタビューをお願いする、田中さん

- 1) どこ、行く、おきなわ
- 2) いつ、手紙を書く、あした
- 3) どんなケーキ、作る、バナナケーキ
- 4) どんな車、買う、RV車

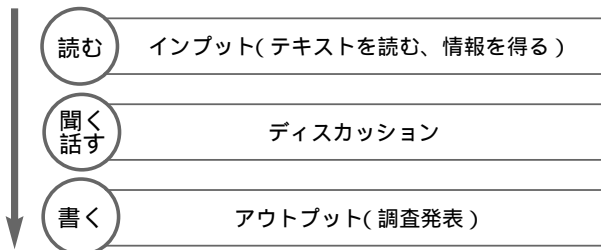
発展練習

1. 下線の部分を比べてみましょう。だれが書きますか。

- a. 日本の歴史について書こうと思います。
- b. 日本の歴史について書くと思います。
- c. 日本の歴史について書きたいと思います。

2. トピック演習(トピック・シラバス)

トピック演習は、スキルを個別に扱うのではなく、あるトピックを中心にそれについて資料などを読む中で(読む)語彙や表現を強化したり調整を通して日本語で人とコミュニケーションを取ったり(聞く、話す)発表原稿のために文章を書いたり(書く)するという流れで学習する方法です(下図)。結果として、現代日本事情を学習しながら総合的に日本語力が養われることになるのですが、これも始める前に学習者にその意図やスケジュール、進行の仕方などを明確に説明することが大切です。



テキストとしては「コンビニ」「祭り」「マスメディア」など5つのトピックについて自主教材を作成しました。『日本語初中級』が話し言葉に比重を置いているのに対して、こちらは書き言葉を中心とし中級への導入を図ります。1課の構成は次の4つからなっています。

1. 「導入」
2. 「読解」(ことば、表現、本文)
3. 「資料」(語彙群、データなど)
4. 「タスク」(作文、アンケート、インタビュー)

中心となる読解部分は、新聞記事や雑誌記事から選び、それをレベルに合わせて書き直したものを使用しています。内容は知的向上心を満足させるようなものにし、それに必要な語彙表現は少し難しくても取り入れるようにしました。この自主教材に関しては、まだ試行段階ですので、今後使用しながら修正を加えていく予定です。

専修大学の国際交流センターにおける初中級レベルのコースデザインと『日本語初中級』の位置づけおよび使い方について簡単に説明しました。短期コースであること、学生の国籍やレディネスの多様性という条件を考えても、一つのデザインがすべての学生に同様に効果的だということはありません。この先は、その都度学生の顔を見ながら対応していく必要があるでしょう。

このデザインがひとつの参考事例として、コースを組み立てる際の一助となれば幸いです。

教材紹介

『絵で学ぶ 擬音語・擬態語カード』

— 親しみやすいイラストで楽しく学べる —

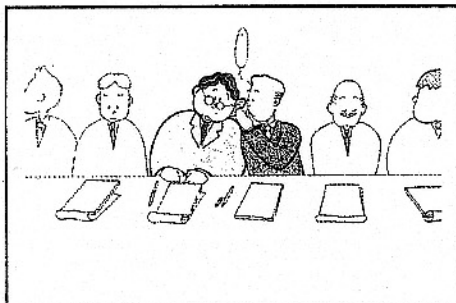
スリーエーネットワーク編集部



「学習者から擬音語・擬態語について質問されてうまく説明できなかつた」、こんな経験をお持ちの日本語教師の方は多いのではないのでしょうか。擬音語・擬態語は日本語、日本人の感性を理解する上でも大切です。

『絵で学ぶ擬音語・擬態語カード』は使用頻度の高い語が約100語採用され、学習者に的確な意味や使い方を絵カードで教えることができます。

ひそひそ(と)話す



- 意味 小さな声で話す
in whispers
噓噓噓噓。悄悄地(说话)
- 用法 ~ (と) 話す ~する
- 例文1 会議中、ひそひそと打ち合わせをする。
During the meeting they were talking in whispers.
开会时，他们悄悄地商量着什么。
- 例文2 隣の人がひそひそ内緒話をするのが妙に気になる。
- 名詞 ひそひそ話
- ナ形容詞 ひそか
- 類義語 こっそり⇒17 こそこそ ぼそぼそ ごによごによ

教師が授業で使いやすいようにカードの裏面には、用法、語の意味、例文、同義語、類義語、反意語、同音異義語が書かれています。(語の意味と例文には、英語訳、中国語訳がついています)。カードはB5サイズで、ミシン目で1枚ずつ切り離して使用できますので、教室での活動にも十分活用できます。

絵で学ぶ 擬音語・擬態語カード
富川和代著 永保澄雄・稲垣宏明監修
B5判 200頁 定価(本体2,524円+税)

セミナー

SEMINARS



海外教科書セミナーのご案内

●北京

日時 1999年11月6日(土)
内容 『新日本語の基礎』を使った効果的な日本語指導
講師 石沢弘子(海外技術者研修協会)

●シンガポール(予定)

日時 1999年12月11日(土)
内容 『新日本語の基礎』『みんなの日本語初級』の
教育現場から
講師 飯塚達雄(マレーシア・マラヤ大学予備教育課程日本語学科長)

*詳細は編集室までお問い合わせください。

Ja-Net ジャネット (季刊) 11号

1999年10月25日発行

発行人 ●小川麻

発行所 ●(株)スリーエーネットワーク

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3 松栄ビル

Ja-Net 編集室 電話 03-3292-6410 FAX 03-3292-6197

営業課 電話 03-3292-5751 FAX 03-3292-5754

http://www.at-m.or.jp/~3ac E-mail: 3ac@mailat-m.or.jp

印刷 ●日本印刷(株)

©1999 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)

皆様からの投稿や各コラムへのご質問、ご意見等をお待ちしております。採用させていただいた方にはオリジナルテレホンカードを差し上げます。

このニュースレターをご希望の方は、お名前、ご住所、所属をファックス等で編集室までお知らせ下さい。毎号無料でお届けします。

『Ja-Net』第12号は2000年1月25日発行予定です。